

客員教授・客員研究員紹介

有馬 晋作 客員教授

鹿児島県庁に23年勤務後、宮崎公立大学人文学部に。教授、学長等を務め今年3月末退任。鹿児島大学大学院、博士(学術)。研究テーマは「戦後の地方自治」で、単著『暴走するポピュリズム』(筑摩選書)他。

銀屋 (屋久) 健二 客員研究員

鹿児島実業高等学校教諭。近世の大坂の都市史を中心に、最近では薩摩藩の社会構造に関わる研究を行う。共著に『シリーズ三都 大坂巻』(東京大学出版会)・『シリーズ遊郭社会Ⅰ』(吉川弘文館)。

友野 春久 客員研究員

掃苔家。旧鹿児島城下内の墓地墓碑銘にみえる薩摩・鹿児島県先人の業績・足跡の調査研究、データベース作成。西南戦争の研究。論文に「鹿児島城下絵図にみる三方限の名士」など。共編に『鹿児島城下絵図散歩』(高城書房)

永山 修一 客員研究員

ラ・サール学園、鹿児島大学・鹿児島国際大学(地理歴史科教育法)、鹿児島県立短期大学(日本の歴史)非常勤講師。博士(文学)。著書『隼人と古代日本』(同成社)、『本庄古墳群猪塚とその出土品の行方』(鉦脈社)。

林 匡 客員研究員

鹿児島県立明桜館高等学校教諭。南九州地域史、文書管理史。藩記録所、系譜と由緒、明治期に至る文書管理等を研究。共編著『島津重豪と薩摩の学問・文化』(勉誠出版)、論文「薩摩藩の藩政文書管理と筆者」(『幕藩政アーカイブズの総合的研究』思文閣出版)

吉満 庄司 客員研究員

鹿児島県立大口高等学校長。日本近代史専攻。幕末維新期の薩摩藩について、主に対外関係史を中心に研究。共編著に『明治維新と郷土の人々』(鹿児島県)、『激動の明治維新』(黎明館特別展図録)。